

# 資料3 高齢社会の現状と課題

## 1. 高齢者人口等の状況

●本県の65歳以上の高齢者人口は、約46万5千人で、高齢化率\*は約21.0%と、全国の約16.7%を大きく上回っています。

●また、65歳以上の高齢者人口のうち、要介護、要支援状態になる確率が高いと言われている後期高齢者\*人口の割合は、約43.4%となっており、全国の約40.1%に比べて高くなっています。

●今後、高齢化はさらに進展し、平成16年には、高齢化率は約22.6%、後期高齢者人口の65歳以上の高齢者人口に占める割合は約49.9%になると見込まれます。

●要介護高齢者\*の数は、約54,700人（平成10年調査時点）で、65歳以上の高齢者人口に占める割合は、約12.0%となっています。今後、後期高齢者が増加するため、平成16年度には要介護高齢者の数は約65,200人、65歳以上の高齢者人口に占める割合は約12.8%になると見込まれます。

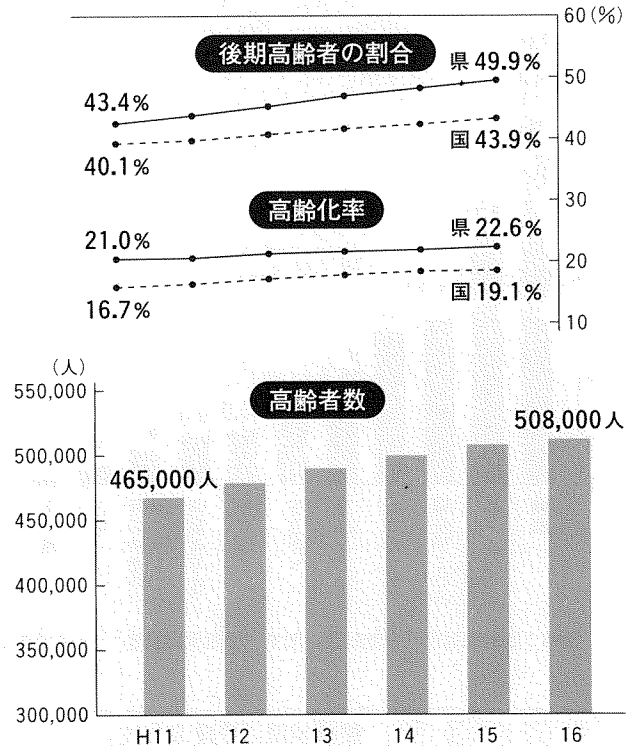
●一方、本県の平均寿命は、男性78.97歳、女性85.06歳（平成10年現在）と全国に比べて長く、また、高齢化が進んでいる県でありながら、高齢者1人当たりの老人医療費が全国最低（平成2年度調査以降）で、高齢者就業率が全国第1位（昭和55年度調査以降）であるなど、全国有数の健康長寿県となっています。

\*高齢化率…総人口に占める65歳以上人口の割合。

\*後期高齢者…75歳以上の高齢者。

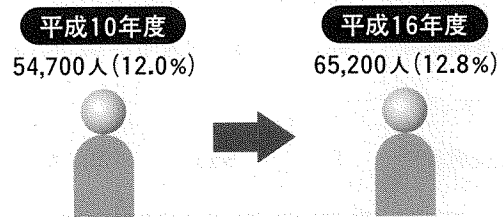
\*要介護高齢者…介護保険法上の要介護又は要支援の状態にある高齢者。

### 長野県の高齢者人口の見通し等



(注) 後期高齢者の割合：75歳以上人口/65歳以上人口  
資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」  
(平成9年1月推計)、企画課(平成11年推計)

### 長野県の要介護高齢者数の見通し



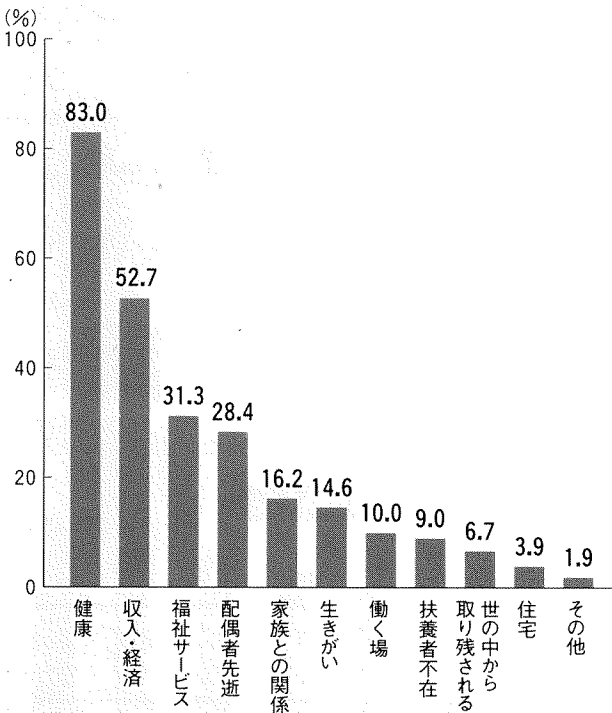
(注) ( ) 内は65歳以上人口に占める割合  
資料：高齢福祉課「要介護高齢者等実態調査」  
(平成10年)、企画課(平成11年推計)

	長野県	全国
高齢者1人当たり老人医療費 (平成9年度)	592千円 (全国第47位)	790千円
高齢者就業率 (平成7年度)	36.2% (全国第1位)	25.4%

(注) 高齢者就業率：65歳以上の就業者数/65歳以上の人口  
資料：厚生省「老人医療事業年報」、総務庁「国勢調査」

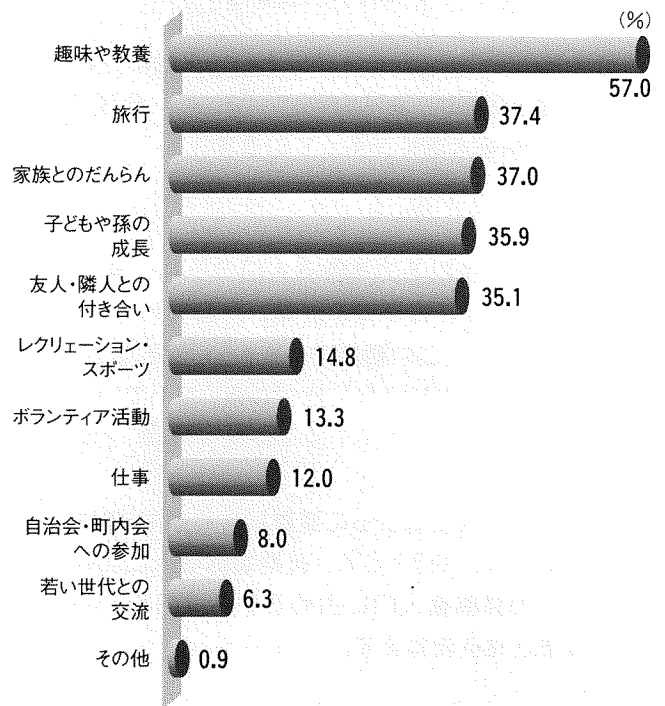
## 2. 生きがいづくりや活躍の支援

### 「老後」の不安の理由



資料：高齢福祉課「高齢社会に関する県民意識調査」（平成10年）

### 老後の生きがいを何に求めたいか



資料：高齢福祉課「高齢社会に関する県民意識調査」（平成10年）

施設名	整備状況（平成8年度）		
	施設数	定員（病床）数	65歳以上 100人当たり 定員（病床）数
特別養護 老人ホーム	87	5,513人	1.3人(1.3人)
老人保健施設	41	3,074人	0.7人(0.9人)
療養型病床群	8	568人	0.1人(0.3人)

(注) ( ) 内は全国平均

資料：厚生省「老人保健福祉マップ」（平成9年版）

- 高齢者が健康で安らかな生活を営むことができる地域社会を形成するため、市町村が行う広報活動や健康増進活動等を支援します。
- 高齢者の健康増進や趣味、教養活動などを実施するため、老人福祉センター\*、老人憩いの家、公民館、集会所などの施設の機能整備を図ります。
- 農村高齢者が持てる能力や経験を生かせるような環境づくりを支援します。
- 敬老の日に、88歳、99歳、100歳到達者と101歳以上の高齢者に記念品を贈り、長寿を祝います。
- 生きがいの発見や健康づくりができるようにするため、老人クラブの活動を支援します。
- (財)長野県長寿社会開発センターの賛助会員活動の充実など、高齢者の健康づくりや地域活動を推進するための組織づくりを支援します。
- 公共スポーツ施設等を拠点に、総合型地域スポーツクラブを育成し、子どもから高齢者に至るまで、スポーツを愛好する誰もが気軽に参加できる仕組みづくりを行います。

\*老人福祉センター…原則として無料で各種の相談に応じ、高齢者に対し健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与する施設。